



発行責任者
 隠岐広域連立
 隠岐病院長
 隠岐の島町城北町

精神科病棟の継続について

知事の発表を期待し、
 透析は、チーム医療体制で

隠岐病院長 武田 博士

殆ど連日のように報道関係に取り上げられていきますので既に皆様はご存じだと思いますが、全国的に勤務医の不足する状況は大変深刻であります。地方に限らず都市部でも勤務医の減少から地域の医療を支えるべき病院の機能が十分に果たせなくなってきました。

昨年からは隠岐郡におきましては、産科医師一人体制であり、島の全ての出産対応することが出来ず、約七割の妊婦さんに本土へ渡って頂く状況が続いています。現状では一人の産科医のもとで助産師外来の更なる充実を図り、一人でも多くの方に島で出産をして頂けるよう努力していると

ころです。現在も産科医数の減少は続いており、当院でも産科医二名以上の体制強化の見通しはたっておりません。

精神科医療におきましても病院勤務の先生方の不足は切実な事態であります。新聞やテレビで広く報道されているとおりですが、私共の病院の精神科病棟が一時休止状態になる可能性があります。昨年までは二人の先生方で隠岐郡の精神科医療を支えて頂いておりましたが、県立精神科病院「湖陵病院」が拡充整備された「島根県立心の医療センター」が二月から開院されたこともあり、県から医師派遣が困難となり二人体制を維持す

ることができなくなりました。病棟休止だけは避けるべく松田広域連合長をはじめ私共も努力してまいりましたが、精神科医師の招聘には至りませんでした。広域連合立の病院であるところから「県立心の医療センター」を頼りにするところですが、発足したばかりの不慣れな施設での業務に医師を派遣できる余裕はないと言われるのも無理はないと考えます。現在も広域連合、県健康福祉部、精神科医師懇話会により精神科の常勤医着任にむけて努力が続けられていますが、常勤医師不在で病棟休止という最悪の事態にも対応出来るようにしなければなりません。現在「心の医療センター」から派遣されています有田茂夫副院長さんに六月末まで勤務していただき、病棟休止も含めた万一の事態にも対応できるように病院体制の整備、保健所を始め役場、地域の施設などの地域支援体制について協議を進めています。

精神科医の先生方から常々お聞きしているところですが、精神科医療においては地域の住民の皆様を含めた官民一体の支援体制がまだまだ不十分だとこのとです。常勤医師の招聘努力と平行して病院、保健所、町役場、

民間施設の連携協力による地域支援体制の充実整備を図り精神科医師の働きやすい環境作りが強く求められていると考えています。こうした地域での支援体制構築の取り組みが、精神科医師の招聘に繋がると信じています。また、精神科医療に限らず地域住民の方々による医療人の働きやすい環境作りが人材確保にとっても重要であり、病院医療の充実に直結すると思っております。

泌尿器科医師として、また休日の土曜日返上で透析医療を支えて頂いた竹田昌希先生が九月を以て退任されます。二年半の間、大変な重責を担って頂き島民に尽くして頂いたことに心から感謝申しあげなければなりません。後任については、島根大学泌尿器科、健康福祉部を通じて県立中央病院泌尿器科双方に医師派遣を要請しているところですが、今のところ後任の常勤医師は決まっておられません。

透析を受けておられる方は約四十名おられ、これからずっと島で生活が続けられるよう現状を堅持しなければなりません。幸い優秀な透析チームがあり、機器も整備されており、ペテラン医師四名が透析チームに加わって、
 次ページへ

今まで通り透析医療に万全を期する所存であります。

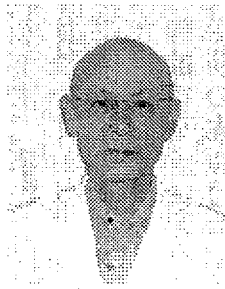
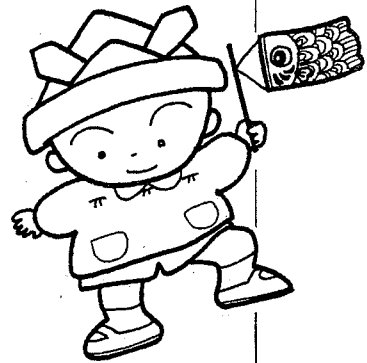
専門性の高い泌尿器疾病については島根大学泌尿器科の先生や島根県立中央病院の先生に週二回程度来て頂き外来で診療頂けるようお願いしているところです。腎臓や膀胱などの一般的な疾患につきましては内科や外科で診療出来ますのでご相談頂きたいと存じます。

昨年は島のあちこちの集会所に出かけ皆様に親しくお話しさせて頂きました。その際に繰り返し申しあげたことですが、これからも数年は勤務医が減少し隠岐病院もその影響を強く受けると思います。私共医師は専門性の内に留まるのではなく、専門外の医療にも幅広く対応しなければならぬと考えています。こうした総合診療を進める一方で、専門性の高い疾患については中核病院との密接な連携によりの確かな判断を下し、中核病院へ紹介する役割を担っていると考えます。

確かな総合診療力に根ざした自立及び中核病院との連携による効率的な医療の提供が私共の隠岐病院の使命であり、その遂行に職員が力を合わせて参ります。

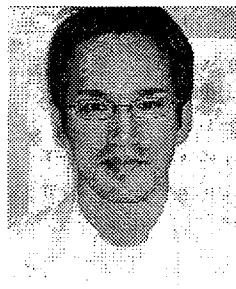
新規職員の紹介

平成二十年度がスタートし、早二ヶ月がたちます。遅くなりましたが四月、五月付け採用職員を紹介いたします。よろしくお願



ありた しげる 茂
有田 (精神神経科)

島根県立こころの医療センターから精神科医として赴任してきました。昭和五十六〜五十八年の約三年間隠岐病院に勤めていたことがあり、今回二回目になります。外来ではかつて治療を受けていた患者さんと少なからず出会いがありなつかしく思いました。また二十数年の時間の流れも感じていきます。医療はどの地のおいても同じであると思えます。これからは医療の原点を見つめながらやっていけたらと願っています。



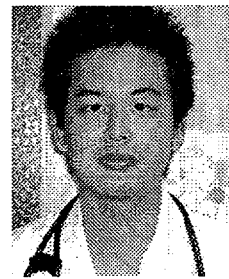
ながさわ あつし 篤志
永澤 (内科)

この度、赴任しました内科の永澤です。二度目の隠岐病院勤務です。宜しくお願いたします。



さいとうりょうへい 齋藤 亮平
齋藤 (内科)

内科の齋藤です。都万診療所勤務中は大変お世話になりました。まだまだ未熟ではありますが、住民の方々の安



おだがわ せいじ 治
小田川 (内科)

心のために頑張って参ります。至らない点がありましたら遠慮なく教えてください。これからどうぞよろしくお願いたします。

四月から隠岐にきました内科の小田川です。三月までは島根県立中央病院で二年間の初期臨床研修医として勤務してました。まだまだ微力ではありますが隠岐の医療のために力になれると思います。不慣れのことも多いと思いますが、がんばっていきましょうと思えます。ご指導の程よろしくお願いたします。



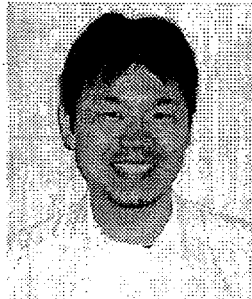
なわた のぶひこ 信彦
縄田 (眼科)

四月から隠岐病院勤務となりました眼科の縄田です。よろしくお願いたします。



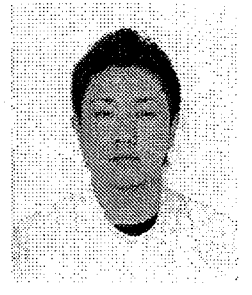
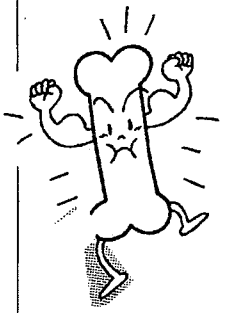
やまだ けんじ
山田 健治
(小児科)

本年四月より隠岐病院小児科に勤務している山田健治です。僕は島根県出身なのに、隠岐の島には来たことがなく当初は戸惑うことも多々ありましたが、島の人たちは本当に親切で、正に人情の島だと実感しています。僕も隠岐の子供たちに笑顔の花が咲くように頑張りたいと思います。



いまだ しんじ
今出 真司
(整形外科)

四月一日をもって隠岐病院整形外科に着任しました今出です。よろしくお願ひします。



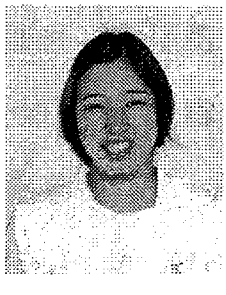
いけだ かずや
池田 和也
(放射線技師)

四月から放射線科で勤務することになりました。大阪の専門学校を卒業後、隠岐に帰り隠岐病院で二年間臨時職員として働いていました。まだまだわからないこともたくさんありますが、早く一人前になるため一生懸命働きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



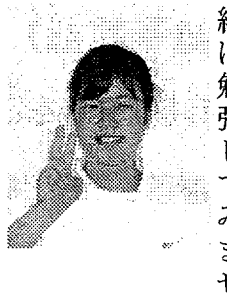
せべ まみ
背戸 真由美
(看護師)

はじめまして。三F病棟に配属になった背戸といひます。隠岐病院に入って一ヶ月半になります。まだまだ業務に慣れることで精一杯な状況です。新しい職場で自分の知識不足を痛感する日々ですが、患者様との関わりの中で看護師としての役割を認識し、どんな時でも落ちついて対応できるように努力していきたいと思ひます。



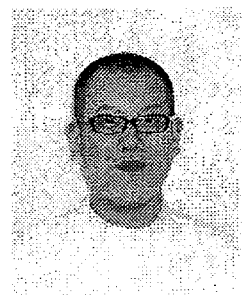
きだ ともこ
木田 朋子
(看護師)

私は大阪豊中市よりインターンで隠岐に参りました。看護師二十一年の経験はありますが、今は言葉と土地勘に戸惑っています。しかし病棟の人々に助けられ日々過ごしています。私は呼吸器胸部外科麻酔科三学会合同の呼吸療法認定士を持っています。呼吸器疾患や呼吸療法に悩んでいたり、興味がある方、一緒に勉強してみませんか？



にし ともみ
西 智美
(看護師)

私は隠岐で生まれ、隠岐で育ち、隠岐がとても大好きです。小さいころから看護師が夢でした。今、このように隠岐病院で看護師として働けるのは、今まで私を支えてくださった方々のおかげだと思ひています。これからは、少しでも恩返しができるよう、また隠岐の医療に貢献できるように頑張ります。



いわみず じゅん
岩水 潤
(看護師)

看護学校を卒業しそのまま隠岐に帰ってきました。まだ何もわからないけど、一生懸命がんばって早く慣れたいと思ひます。隠岐のみなさんに安心できる医療を与えられるようこれから頑張るのでよろしくお願ひします。



ひぐち あさみ
樋口 亜沙美
(看護師)

四月から夢だった看護師として隠岐病院で働くことになりました。私は隠岐が好きなので将来は絶対に隠岐で働きたいと思ひていました。また私が入院した時の看護師さんの心配りなどに惹かれて看護師になりました。実際に働いてみると思うよりいかなかったです。一生懸命頑張りたいと思ひます。

新事務部長を紹介します



たなか ともひで
田中 智英

S31年3月30日
旧都万村出身
趣味：磯つり

4月1日付で事務部長に就任いたしました田中でございます。

19年度は各職場の様々な努力により、6年ぶりに内部留保資金がプラスに転じる見込みで、経営状況は良くなって参りました。

島の皆様が安心して暮らしていただけますよう、新病院建設と安定した医療の提供に向け努力しますのでよろしくお願いいたします。

『漢方薬相談』開始のお知らせ!!

表題の漢方薬相談を開始いたします。皆様のご利用をお待ち申し上げます。

詳細は、下記のとおりです。

記

開始時期：平成20年3月18日（火曜日）

診療時間：毎週火曜日 8：30～12：00（完全予約制）

診療対象：「現在病院を受診されている方で、漢方薬の処方をご希望の方又、現在の漢方薬の服用及び使用に関して相談のあるを対象」といたします。

診療室：皮膚科外来

担当医師：武田 博士医師（病院長）又は、加藤 一朗医師

担当薬剤師：野津 芳正

「夕方の時間外診療」（ば
んげ）

「総合診療」（よろず）
を行っております
（完全予約制）

「夕方の時間外診療」

・毎週水曜日診療

17:00から19:00

・午前中に内科受診が困難な方、
学生の方、現在内科通院中で
夕方に診療を希望される方な
どを対象としています。

「総合診療」

・毎水・金曜日診療

8:30～10:30

・「どの科を受診すればよいか分
からない」「健康診断書作成の
方」「健診等で要精査の方」等の
場合の受診をお勧めします。

あとがき

先日、「まめなかの、まだでな
いの？楽しみにしているよ」と
声をかけてくださる方がいまし
た。とても励みになります。

新年度になり、編集委員一同、
新たな気持ちで頑張りますの
で、みなさんのご意見をお聞か
せください。